

宮郷陽子証言 2015.2.18,3.31,4.22 (公表可)

〒264-0017 千葉市若葉区加曾利町 1043-9 電話登録ない

記録者 伊藤章夫

東京新聞で千葉市空襲犠牲者の名簿作成の取り組みを知りました。私の父（濱田健）方の祖母の「濱田さだ 40 歳」が空襲で亡くなった。戸籍には「濱田さだ、昭和 20 年 7 月 7 日 2 時に千葉市旭町において死亡」とある。叔母は「空襲で避難する時に家族とはぐれ、翌朝路上で発見された。両足と左腕を撃たれており、失血死と思われる」と話している。

この時の家族は、さだの夫・濱田二郎 50 歳は千葉市亀井町 131 で「濱田クリーニング舗」を営む。2 階には大学病院の医師や学生が下宿していた。子供は長女和子 17 歳千葉女子商業学校、長男健 10 歳本町小学校 5 年、2 女光子 7 歳本町小学校 2 年、3 女圭子 3 歳がいた。空襲の際、長女が 3 女を背負い、二女が長男の防空頭巾の紐につかまって近くの原っぱに逃げ、大きなこの下に隠れて助かった。米軍機がすぐ上を飛んでいて、空を見ようとしたら「危ないから見るな！」怒られた（二女の話）。

空襲により家は半分くらい焼けて住むことが出来なくなり、その後、二郎と子どもたちは市原市五井の親戚を頼って疎開した。

私が生まれる前に祖父が亡くなっており、父健も祖母の死については全く話をしなかったため、空襲で亡くなったと言うだけで詳しいことはわからず、ずっと気になっていました。叔母たちが高齢になっていきますが、今回の平和祈念碑と名簿作成の話聞き、とても喜んでいきます。大変なお仕事だと思いますが、このような悲惨な戦争を 2 度と起こさないために是非記録に加えていただければと思います。よろしく願いいたします。

第 1 便

宮郷陽子様

電話でお便りありがとうございます。濱田さだ様は初めてです。お名前を名簿に記載し、刻銘碑に刻ませていただきます。

あなたは戦争を体験していないし、千葉市空襲も御存じないかもしれませんが、祖母様ですから母上様や兄弟姉妹、親戚の方から聞いたことが他にありませんか。私は犠牲者のお名前だけでなくその人の差支えない記録を残したいのです。例えば、祖母様の享年（過去帳に記載されています）、亡くなられた状況、御主人の職業、子どもさんの状況、家屋が焼けたのかどうか、近所の状況、誰か疎開をしていなかったかどうか、等等です。

第 2 便

詳細な資料をありがとうございました。しかも私たち市民運動の方向を理解いただいてありがたいです。孫が祖母の記録を作成するのは難しいと思います。父や母がいてこそ話が伝えられていくのが普通です。だから大変だったと思います。これでいいでしょうか。

第 3 便

父二郎を父健に修正しました。今度はメールでお返しします。ありがとうございました。

〒260-0844 千葉市中央区千葉寺町 149-2 伊藤章夫 08053053739